

浄化槽工事検査報告書

（51人槽以上のもの）

検査項目	チェック項目	該当装置の有無	結果	特記事項
1 基礎及び躯体	1 基礎工事は適切に行われたか。 栗石、捨てコン 2 底部コンクリートの配筋、厚さ mm 3 周壁の配筋、厚さ mm 4 鉄筋コンクリート構造の場合防水加工が施されているか。 5 埋め戻し、水締め、つき固め及び槽内清掃等の整地清掃は適切に行われたか。 6 FRP浄化槽では浮上防止措置が講じられているか。			
2 流入管及び放流管渠	1 勾配は適切であるか。 2 汚物や汚泥の滞留はないか。 3 管又は管と合流升等の継ぎ目から漏水又は地下水の流入はないか。 4 マンホール上部及び点検口内の嵩上げ継ぎ目部分から雨水等の流入はないか。 5 雨水、工場排水等の浄化槽の機能に障害をもたらす管渠の接続はないか。 6 升の位置及び種類は適切か。 7 生活排水がすべて接続されているか。			
3 設計図書の確認	1 設計変更が行われていないか。 2 槽の形状、寸法は設計図書どおり施工されているか。 3 機械装置などの仕様書は、設計図書どおりか。			
4 一般構造などの外観 検査	1 型式、メーカー名、人槽の表示があるか。 2 水平に据え付けられているか。 3 亀裂、破損などはないか。 4 かさ上げのある場合、維持管理に支障はないか。 5 通気排気の開口部は適切か。 6 槽本体に滴水して24時間以上漏水しないことが確かめられたか。 7 維持管理が容易にできる構造となっているか。 8 各種配管は堅固に取り付けられているか。 9 機械装置などは堅固に据え付けられているか。 10 各種配管及び槽内の金属材料は、防錆対策が講じられているか。 11 放流管底と放流先水面は適切な落差があるか。 12 周辺に対し、騒音などの影響はないか。 13 マンホールの位置、口径及び材質は適当であるか。 14 清掃用の水道栓が浄化槽の付近に設置されているか。			
5 沈殿分離槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 流入管及び流出管の開口部の位置は、規定の深さにあるか。また、その管の取付け状態はよいか。 3 流入管底と水面との落差はあるか。 4 流入管、流出管、バップルなどの上部にマンホール点検口が設けてあるか。			
6 嫌気濾床槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 濾材の充填率・充填状態はよいか。 3 流入管及び流出管の開口部の位置は適切か。また、その管の取付け状態はよいか。 4 清掃口の位置は適切か。 5 汚泥移送装置の位置は適切か 6 汚泥移送装置の稼働状況			
7 スクリーン流入装置	1 導入管底とスクリーン流路底面との落差はあるか。 2 各種スクリーンの目幅間隔は所定寸法であるか。 3 スクリーンの傾斜角は適切か。 4 スクリーンかすの水きり装置及びスクリーンかすを収納する容器の容量は適当であるか。 5 導水路（バイパス）のゲート板は設けられているか。 6 下記の機械装置の型式、能力は設計仕様書どおりか。 (1) 破碎装置 (2) 自動荒目スクリーン (3) 自動細目スクリーン (4) 自動微細目スクリーン (5) 排砂装置 7 沈砂槽、ばっ気沈砂槽、ばっ気型スクリーンの構造容量は適切か。また、排砂が容易に行える構造となっているか。 8 ばっ気沈砂装置、ばっ気型スクリーンの散気管などの取付け位置は適切か。また、空気調整バルブが設けられているか。			

検査項目	チェック項目	該当装置の有無	結果	特記事項
8 原水ポンプ槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 ポンプの型式、能力、台数（2台以上）などは仕様書どおりか。 3 ポンプの運転状態はよいか。 4 ポンプは容易に保守点検できるよう設置されているか。 5 液面スイッチの設定位置は適切か。また、作動状態はよいか。 6 満水警報器は設置されているか。また、設置場所は適切か。 7 異常満水時の対策は適切か。			
9 流量調整槽、計量装置	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 ポンプの型式、能力、台数は設計仕様書どおりか。 3 ポンプの運転状況はよいか。 4 ポンプは容易に保守点検ができるか。 5 ポンプの液面スイッチ設定の作動状況はよいか。 (1) 最低水位（ポンプ停止レベル）と散気管の位置関係はよいか。 (2) ポンプ停止、起動及び満水警報などの液面スイッチの設定レベルは適切か。 6 満水警報器は設置されているか。また、設置場所は適切か。 7 計量調整装置の構造、形状及び機能について (1) 計量せきの構造はよいか。（各せきの構造は越流方式であるか） (2) 移流量の計測及び調整が容易にできる構造となっているか。 8 攪拌装置と運転状況について (1) 散気攪拌方式の場合、流量調整槽用送風機は設計仕様書どおりか。 (2) 空気配管に空気量、圧力などの計測装置があるか。また、空気調整バルブが設けてあるか。 9 異常満水時、次の槽へのオーバーフロー対策は適切か。			
10 回転板接触槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 回転板の形状・寸法及び板相互の間隔寸法はよいか。 3 回転板の材料は仕様書どおりか。 4 回転板が接触槽の汚水に、規定以上浸漬しているか。 5 回転板の回転速度（円周速度）は規定速度以下か。 6 槽の壁、底部と回転板の間隔（隙間寸法）は規定どおりか。 7 槽には上屋などを設け、通気ができる構造となっているか。 8 回転板の駆動装置について (1) 駆動装置は仕様書どおりか。 (2) 駆動装置は堅固に取り付けられているか。 (3) 駆動装置の運転状況はよいか。 9 回転板の回転状態は円滑か。			
11 接触ばっ気槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 接触材の充填率は規定値以上あるか。 3 接触材及びその支持材の取付け状態はよいか。 4 各槽は、はく離汚泥を引抜き移送できる構造となっているか。 5 ばっ気攪拌状態はよいか。 6 消泡装置について (1) 消泡ノズルの配置、取付け高さなどは適切か。 (2) 消泡状態はよいか。			
12 ばっ気槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 ばっ気装置について (1) 散気管又は機械攪拌機は保守点検が容易にできる構造となっているか。 (2) 散気配管に空気調整バルブが各系統ごとにあるか。また、空気量計測装置があるか。 (3) 散気管又は機械攪拌機の取付け状態はよいか。 (4) 機械攪拌式は、ばっ気の調整ができる装置などがあるか。 (5) ばっ気、攪拌状態はよいか。 3 消泡装置について (1) 消泡ノズルの配置、取付け高さなどは適切か。 (2) 消泡状態はよいか。 4 散気装置の空気にかし配管口は、適切な水面下にあるか。			

検査項目	チェック項目	該当装置の有無	結果	特記事項
13 散水濾床	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 固定ノズル又は回転散水機は仕様書どおりか。また、散水状態はよいか。 3 散水量は適切か。 4 濾材受けと槽底部の間隔及び底部勾配は適切か。 5 濾材の受け材の取付け状態はよいか。 6 濾材の材質、径などは仕様書どおりか。 7 ポンプますの形状寸法はよいか。 8 散水ポンプ及び分水装置の運転及び作動状況はよいか。			
14 脱窒槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 攪拌装置は保守点検が容易に行える構造となっているか。 3 沈殿槽からの汚泥の返送量の計測調整が容易に行えるか。 4 メタノールなどの注入設備は量の調整が容易に行える構造となっているか。			
15 硝化槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 ばっ気装置について (1) 散気管又は機械攪拌機は保守、点検が容易にできる構造となっているか。 (2) 散気配管に空気調整バルブが各系統ごとにあるか。また、空気量計測装置があるか。 (3) 散気管又は機械攪拌機の取付け状態はよいか。 (4) 機械攪拌式は、ばっ気の調整ができる装置などがあるか。 (5) ばっ気、攪拌状態はよいか。 3 消泡装置について (1) 消泡ノズルの配置、取付け高さなどは適切か。 (2) 消泡状態はよいか。 4 散気装置の空気逃し配管口は適切な水面下にあるか。 5 脱窒槽への汚水の返送量の計測調整が容易に行える構造となっているか。 6 pH計の設置位置は適切か。pHを自動的に調整できる構造となっているか。 7 DO計の設置位置は適切か。槽内のDOを計測・記録できる構造となっているか。			
16 沈殿槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 整流装置の形状、寸法及び取付け状態はよいか。 3 汚泥かき寄せ機の型式能力は設計仕様書どおりか。また、運転状況はよいか。 4 越流ぜきの構造、形状及び寸法はよいか。 (1) 越流ぜきは堅固に取り付けられているか。 (2) 均等流出ができるか。(レベル調整されているか) 5 阻流板(バップル)の形状、寸法はよいか。また、バップルは堅固に取り付けられているか。 6 汚泥返送装置の型式能力などは設計仕様書どおりか。 (1) エアリフトポンプの空気管には空気調整バルブがあるか。 (2) エアリフトポンプのヘッドに空気抜きが設けられているか。 7 汚泥返送装置の運転状況はよいか。 8 汚泥返送装置の構造、形状及び機能はよいか。 (1) 計量ぜきの構造はよいか。各せきの構造は越流方式であるか。 (2) 計量ボックスの形状、寸法はよいか。 (3) 汚泥の計量及び調整ができる構造となっているか。			
17 凝集設備	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 攪拌装置は保守点検が容易に行える構造となっているか。 3 薬剤の注入位置は適切か。薬品(凝集用、PH調整用)注入量の計測調整は容易に行える構造となっているか。 4 薬液タンクの容量は10日以上あるか。			
18 濾過設備	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 ポンプの型式、能力は設計仕様書どおりか。 3 濾材の充填は設計仕様書どおりか。 4 自動的に逆洗が行える構造となっているか。 5 差圧などの検知ができる構造となっているか。 6 濾材の交換が容易に行える構造となっているか。			
19 活性炭吸着設備	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 ポンプの型式、能力は設計仕様書どおりか。 3 活性炭の充填率は設計仕様書どおりか。 4 自動的に逆洗が行える構造となっているか。 5 差圧などの検知ができる構造となっているか。 6 活性炭の交換が容易に行える構造となっているか。			

その4

検査項目	チェック項目	該当装置の有無	結果	特記事項
20 消泡設備	1 消泡水貯留タンクの形状、寸法はよいか。 2 ポンプの形状、能力は設計仕様書どおりか。 3 ポンプの運転状態はよいか。 4 ポンプ・ストレーナーがあるか。			
21 消毒槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 消毒装置（消毒筒など）の設置位置は適切か。また、混和状態はよいか。			
22 放流ポンプ槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 ポンプの型式、能力は設計仕様書どおりか。また、運転状態はよいか。 3 ポンプは容易に保守点検できるように設置されているか。 4 液面スイッチの設定は適切か。 5 予備原動機の型式、能力は設計仕様書どおりか。また、運転状態はよいか。			
23 汚泥濃縮貯留槽、汚泥濃縮槽、汚泥貯留槽	1 槽の形状、寸法はよいか。 2 脱離液返送装置などがあるか。また、その取付け状態はよいか。（汚泥濃縮貯留槽、汚泥濃縮槽） 3 槽は、臭気が発散しない構造となっているか。 4 汚泥の引抜き及び搬出が容易な構造となっているか。			
24 機械室設備など	1 機械室の広さは、機械装置、動力操作盤などの保守・管理上支障はないか。 2 機械室は防音、防湿などの構造となっているか。 3 処理方式、能力、フローシート、設置年月、施工業者名などを明記した耐食性の表示板を掲示しているか。 4 送風機の型式、能力、台数は設計仕様書どおりか。また、運転状態はよいか。 5 送風機の据付け状態はよいか。 6 送風機には風量計、圧力計の計測装置があるか。 7 電動機、ポンプ操作盤などには接地工事がされているか。 8 電動ケーブル及び各槽からのセンサーケーブルの盤入線部にはコーキングなどで適切な防湿対策が施されているか。 9 ポンプ操作盤は設計仕様書どおりか。 (1) 漏電ブレーカーが設置されているか。また、作動状態はよいか。 (2) 流量調整槽のポンプ稼働時間を積算できる計器が設置されているか。 (3) 満水警報装置が設置されているか。また、作動状態はよいか。 10 予備電源装置は設計仕様書どおりか。また、運転状況はよいか。			
25 附帯設備	1 換気設備は設計仕様書どおりか。また、運転状態はよいか。 2 照明設備は設置されているか。また、保守、点検上支障ない照度を有しているか。			
26 槽内の配管	1 各種配管は設計仕様書（材質、口径など）どおりか。 2 空気配管の空気漏洩試験を行ったか。また、その結果はどうであったか。			

放流先の経路と状況	
設置者に対する取扱説明	

検査月日及び検査項目

月 日	
月 日	
月 日	

浄化槽設備士氏名	Ⓔ 設備士免状番号
----------	-----------